

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

平成24年 6月 5日

大分県知事 殿

提出者

住 所 大阪府大阪市住之江区南港北1-7-89

氏 名 日立造船株式会社 代表取締役社長 古川 実
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 06-6569-0145 (環境安全部)

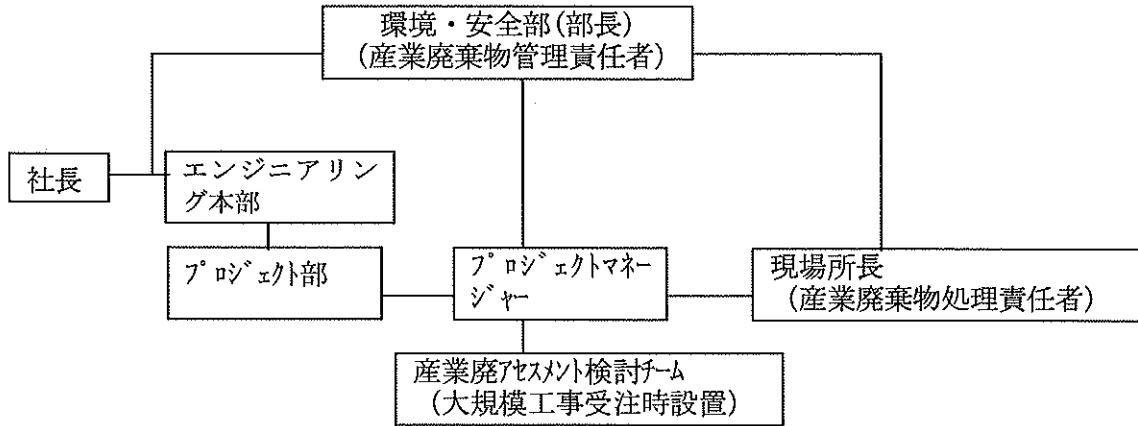
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	日立造船株式会社 大阪本社 (藤ヶ谷清掃センター更新事業 現場事務所)														
事業場の所在地	大阪本社：大阪府大阪市住之江区南港北1-7-89 現場事務所：大分県別府市大字平道字藤ヶ谷次の333の3														
計画期間	平成24年4月1日～平成25年3月31日(1年間)														
当該事業場において現に行っている事業に関する事項															
① 事業の種類	大区分：建設業 業種名：一般土木建築工事業														
② 事業の規模	エリア内元請完成工事高 9400百万円														
③ 従業員数	3083人														
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	<table border="1"> <tr> <td rowspan="4">建設現場</td> <td>がれき類</td> <td>埋立処理(安定型)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>木くず</td> <td>埋立処理(安定型)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>廃プラ類</td> <td>埋立処理(安定型)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>金属くず</td> <td>委託処理：再生</td> <td>リサイクル</td> </tr> </table>		建設現場	がれき類	埋立処理(安定型)		木くず	埋立処理(安定型)		廃プラ類	埋立処理(安定型)		金属くず	委託処理：再生	リサイクル
建設現場	がれき類	埋立処理(安定型)													
	木くず	埋立処理(安定型)													
	廃プラ類	埋立処理(安定型)													
	金属くず	委託処理：再生	リサイクル												



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（ 23 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排出量	別紙のとおり	t
	(これまでに実施した取組) 工事発注仕様書に基づき発生量を予測し、マニフェスト管理票により把握、管理を行っている。 梱包材の削減をお願いしている。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排出量	別紙のとおり	t
	(今後実施する予定の取組) 梱包材の簡素化 (廃プラスチック、木くず) ユニット化持ち込み (梱包の低減) 品質管理の徹底による不要材の削減 (金属くず)		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃プラスチック類、木くず、金属くず、がれき類
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 上記に加え、混合廃棄物の分別

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（ ー 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ー	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	ー t	t
	(これまでに実施した取組) 自社で行っていない。		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ー	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	ー t	t
	(今後実施する予定の取組) 自社で行っていない。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（ ー 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ー	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	ー t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	ー t	t
	(これまでに実施した取組) 自社では行っていない。		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ー	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	ー t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	ー t	t
(今後実施する予定の取組) 自社では行っていない。			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（ ー 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ー	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	ー t	t
	(これまでに実施した取組) 自社では行っていない。		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ー	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	ー t	t
	(今後実施する予定の取組) 自社では行っていない。		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（ 23 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	全処理委託量	別紙のとおり t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	別紙のとおり t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) 廃棄物委託契約書を参考に処理業者と委託契約を締結している。 産業廃棄物の種類毎に分別している。 環境関連法の改正等がある都度、社内環境会議や社内報で紹介説明している。 新規入場者教育で分別の徹底を教えている。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	全処理委託量	別紙のとおり t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	別紙のとおり t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 分別の徹底による混合廃棄物量の削減 再生処理に努める。		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物処理計画書 別紙

第2面

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

前年度（23年度）実績

①現状	廃棄物の種類	がれき類	木くず	廃プラスチック	金属くず		合計
	排出量	1637.97 t	10.79 t	2.23 t	5.73 t		1656.72 t

目標

②計画	廃棄物の種類	がれき類	木くず	廃プラスチック	金属くず		合計
	排出量	900 t	8 t	2 t	5 t		915 t

第4面

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

前年度（23年度）実績

①現状	廃棄物の種類	がれき類	木くず	廃プラスチック	金属くず		合計
	全処理委託量	1637.97 t	10.79 t	2.23 t	5.73 t		1656.72 t
	再生利用業者への処理委託量	1637.97 t			5.73 t		5.73 t

目標

①計画	廃棄物の種類	がれき類	木くず	廃プラスチック	金属くず		合計
	全処理委託量	900 t	8 t	2 t	5 t		915 t
	再生利用業者への処理委託量	900 t			5 t		905 t